

高体連主催大会柔道専門部
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン

※以下は、新型コロナウイルス感染症感染拡大が終息するまでの共通認識事項とする。

1. 競技会開催場所や競技特性に応じた適切な感染予防対策の実施
2. 三密（密閉・密集・密接）の徹底回避
3. 感染が発生した場合の対応

大会実施においては上記3点のリスクに対する対応が必要。また、対策を十分に講じたと判断し実施したとしても、競技会終了までの期間における県内感染状況（クラスター発生、オーバーシュートなど）に応じて、大会の中止を判断する必要がある。

1 基本的な感染防止対策

- ① 開閉会式は密にならないように時間を短縮して行う。
- ② 選手以外のマスク着用の推奨。
- ③ 水分補給は個人単位で準備を徹底。
- ④ 引率責任者による自校生徒の健康管理（健康観察や検温等）の徹底。
- ⑤ 会場内の換気の徹底。（途中で試合を中断し換気を行う）
- ⑥ 手洗い、うがい、アルコール消毒を徹底する。
- ⑦ 場内の人の密度をできる限り減らす。 ※状況により変更あり
 - ウォーミングアップの場所や選手控え場所を学校ごとに調整する。
 - 階段を一方通行にする。
 - 観客席と選手控え場所を分ける
 - 原則として試合会場には、団体の場合は次の試合、個人の場合は3試合後の選手までの入場とする。
- ⑧ 近距離での会話や発声はできる限りしない。
- ⑨ 「高体連危機管理マニュアル」を参考に大会実施までの流れを予め確認し周知すること。

2 生徒に発熱等が見られる場合の対応

- ①発熱等の症状が見られる場合は大会参加を認めない。
- ②当日急な症状が見られる場合は、引率者が保護者等に連絡をとり帰宅させる。
- ③その他、大会期間中は引率教員及び大会役員で生徒の健康観察を徹底する。

3 感染者が発生した参加校の取り扱いについて

各学校が行政機関や保健所の指示に従い、適切な範囲で休校等の措置を実施した内容を受け、大会参加の可否について判断する。（濃厚接触者判断は行政・保健所が行い対象者に措置が行われる。また、各校における参加申込は、各学校長の責任で安全を確認されたうえでのものと判断する）

4 大会途中で感染者が発生した場合

原則として中止・延期の判断を行う。その後、行政機関や保健所の指示に従い、経過等については各専門委員長を通じて県高体連事務局へ書面で連絡を行う。

5 大会終了後に大会参加者の感染が発覚した場合

各学校の判断や、行政機関の指示に従う。その経過等については各専門委員長を通じて県高体連事務局へ書面で連絡を行う。